

射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～

令和元年度進捗状況報告書

令和2年9月

射 水 市

目 次

1	報告書策定の趣旨	1
2	評価の方法	2
3	人口の状況	2
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況	4
5	令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証	12
6	総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標	16

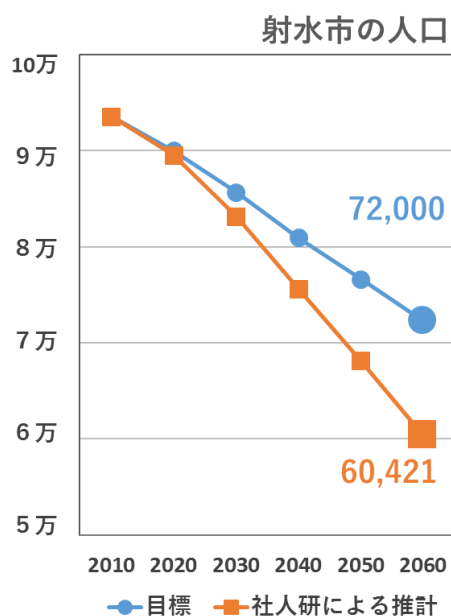
1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」）を策定した。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第1期の最終年度である令和元年度の進捗状況について報告するものである。

基本的な考え方



POINT 1

射水市の人口推計（2060年）

60,421人

人口減少と地域経済の縮小の悪循環

POINT 2

将来にわたって活力に満ち、
市民が夢と希望を持てる射水市を創る。

射水市まち・ひと・しごと
創生総合戦略の施策の推進

POINT 3

人口**72,000**人を目指す

基本目標
1

結婚・出産・子育て・子どもの学びの
環境づくり

基本目標
2

地域のしごとづくり

基本目標
3

市の魅力を内外に発信し、
新しい人の流れづくり

基本目標
4

安全で安心して暮らせる
時代に合ったまちづくり

2 評価の方法

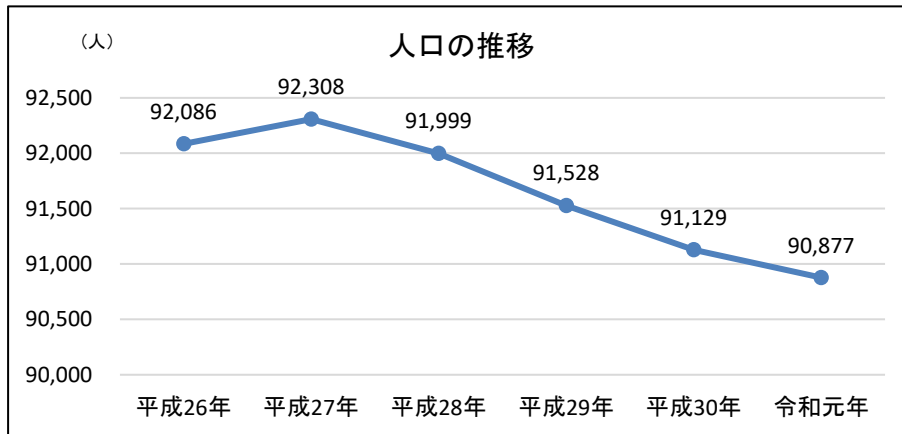
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標を（KPI）を下記の4段階で評価を行う。

- ① 達成 …… 最終年度の目標値を達成している。
- ② 概ね順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が50%以上100%未満
- ③ 維持 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が50%未満
- ④ 遅れ …… 基準値を下回っている。

3 人口の状況

(1) 人口の現状

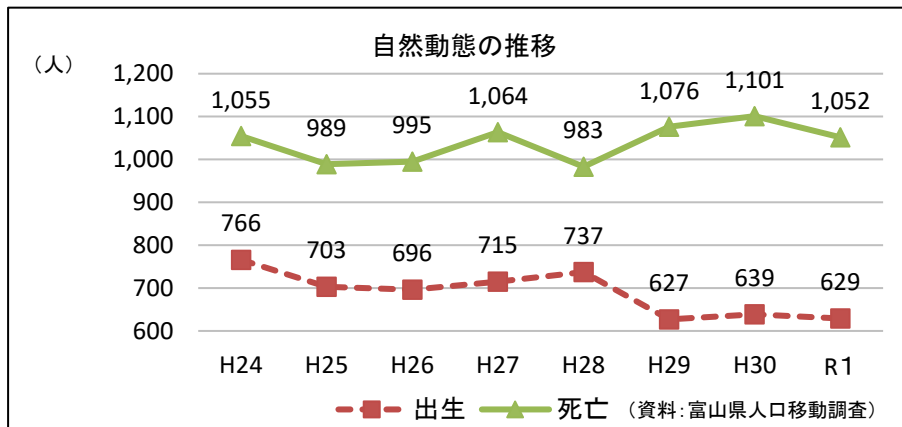
令和元年10月1日現在の本市の総人口は90,877人で、前年と比較して252人、0.28パーセントの減となった。国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年度の国勢調査等に基づき試算した最新の人口推計によると、2019年時点の射水市の推計人口は、90,616人で、約260人上回っている。また、2060年時点の射水市の推計人口は61,833人で、人口ビジョン策定時（60,421人）よりも若干の増となっている。

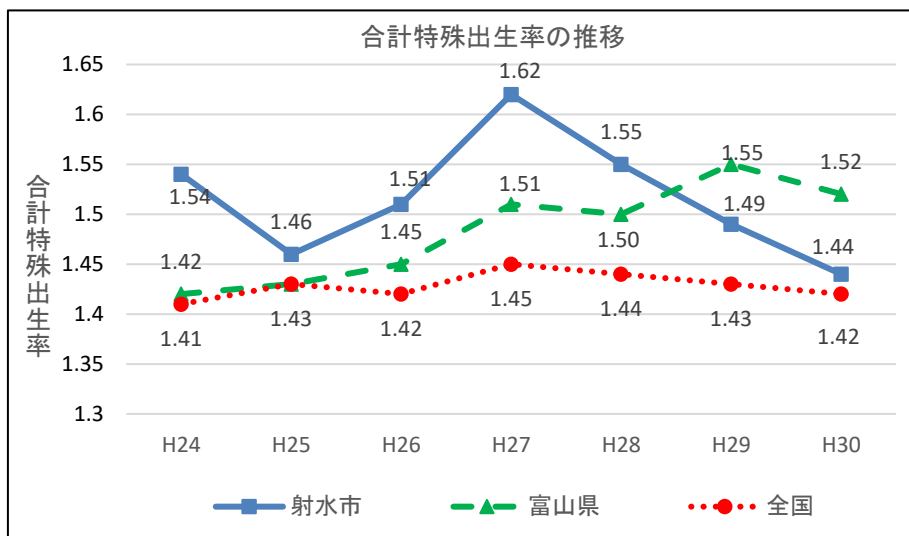


(資料：富山県人口移動調査)
※平成27年は国勢調査

(2) 自然動態

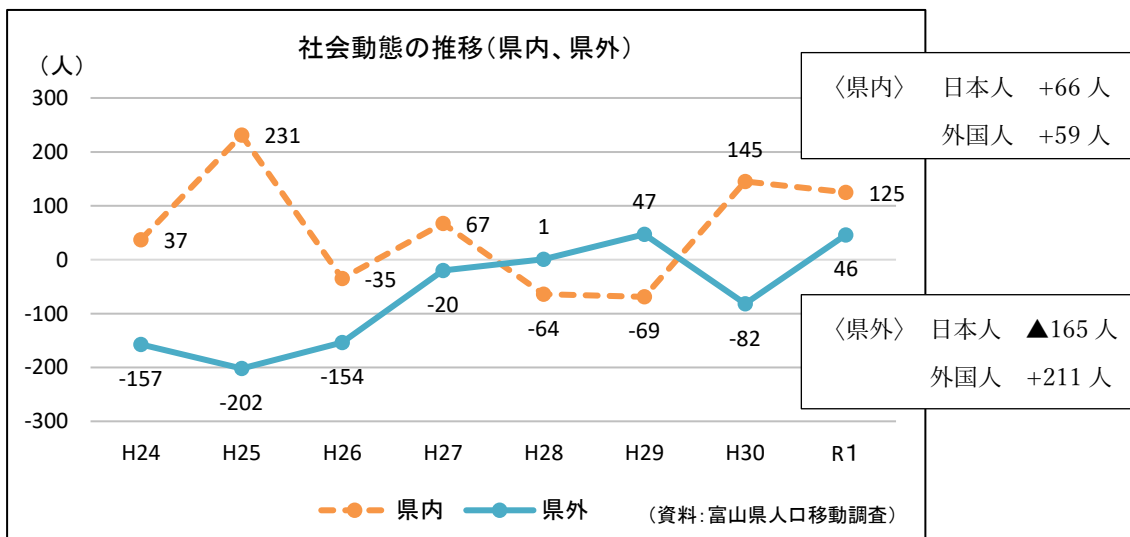
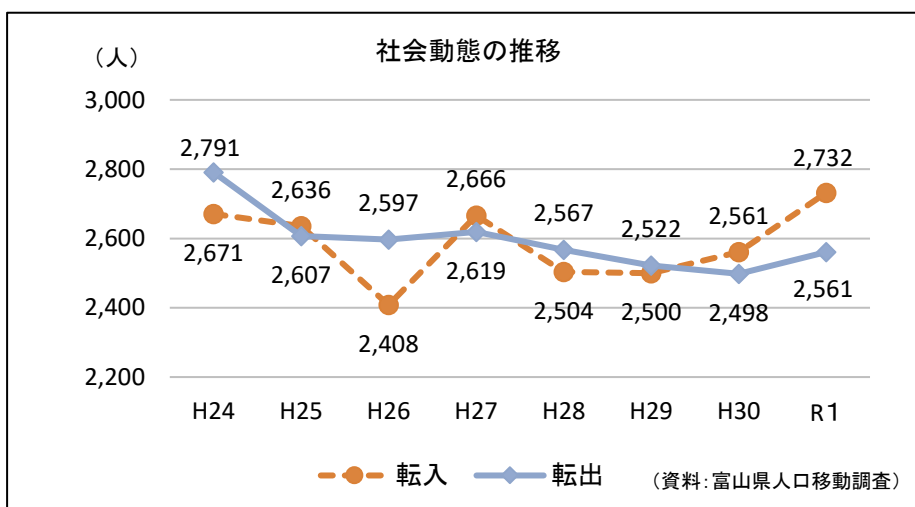
令和元年の出生者数は629人、死亡者数は1,052人であり、いずれも前年と比べ減少し、自然動態は423人のマイナスとなった。また、平成30年の合計特殊出生率は1.44であり、国の数値を上回っているが、県の数値を下回っている。





(3) 社会動態

令和元年度の転入者数は2,732人で、転出者数の2,561人を上回り、社会動態は171人のプラスとなった。また、県内・県外別の移動では、県内で125人の転入超過、県外では外国人の増による影響もあり、46人の転入超過であった。

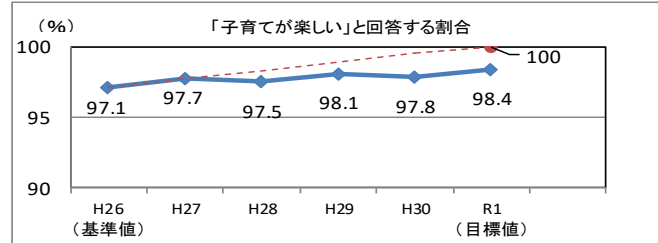


4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.1%	98.4%	100%

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

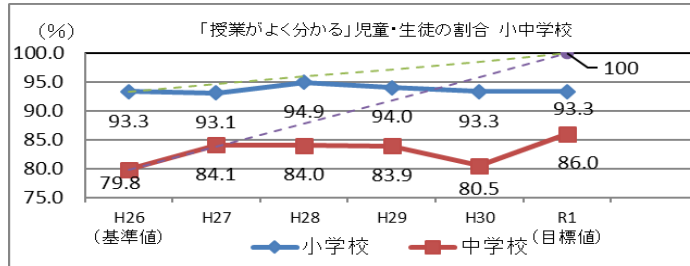
- 子ども子育て総合センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えた。
- 産後ケア事業（日帰り型・宿泊型・訪問型）の拡充、母子保健推進員による妊娠期及び6～7か月児への家庭訪問の実施、産前・産後サポート体制の充実に図った。

<今後の取組>

- 子ども子育て総合支援センターが多くの方に利用してもらえるよう、市民への更なる周知を図る。
- いみずママベビサポートの充実(産後ヘルパー事業の実施)を図る。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小 93.3%	小 93.3%	小 100%
	中 79.8%	中 86.0%	中 100%

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

- 授業では、学習規律やルールを踏まえた指示、解決までの学習活動の見通しを持たせる課題提示の工夫等、「射水スタンダード～授業のABC～」を意識した実践がみられ、児童生徒の「分かる・できる（自尊感情）」の高まりにつながった。
- 学習サポーターを41人、チームティーチング指導員を9人配置し、きめ細かな学習指導・生活指導を行い、児童生徒の学習等への支援と教員の負担軽減を図った。また、「小学生学び応援塾」の実施による算数の学力補充を行ったほか、タブレット端末、大型モニター、電子黒板機能付プロジェクターの使用により授業への関心を高めた。

<今後の取組>

- 個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図るため、補充学習の充実や授業及び家庭学習の効果的な取組を推進する。また、自尊感情を高めることによる学習意欲の喚起についても継続的に取り組む。
- ICT環境の整備やALTの配置が児童・生徒の学習効果の拡大につながっているかを点検・評価し、効果的な実践を各校の指導に生かせるよう共有を図っていく。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	5	0	5	2

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

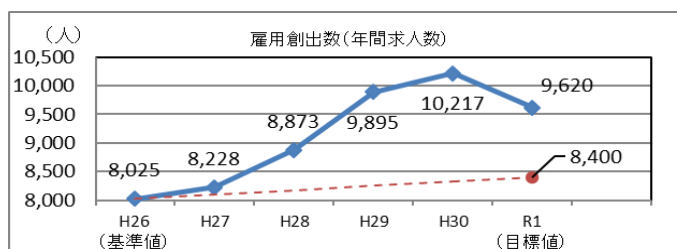
KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	0 件	4 件	2 件	達成
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センターの年間利用者数	46,752 人	44,534 人	53,000 人	遅れ
4	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	— 件/年	878,997 件/年	58,000 件/年	達成
5	3歳6か月児健康診査の受診率	98.6 %	99.2 %	100 %	維持
6	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)86.4 %	(小学校)89.0 %	(小学校)100 %	維持
		(中学校)57.5 %	(中学校)70.6 %	(中学校)100 %	維持
7	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)81.1 %	(小学校)85.5 %	(小学校)83.0 %	達成
		(中学校)58.7 %	(中学校)64.5 %	(中学校)60.0 %	達成
8	不登校児童・生徒数 小中学校	(小学校)42.0 人	(小学校)32.0 人	減少	達成
		(中学校)53.0 人	(中学校)82.0 人	減少	遅れ
9	家庭教育に関する講座・学習会の参加者数	971 人	971 人	1,050 人	維持

- 「男女の出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベント 3回に加え、民間団体によるイベントが1回開催され、計13組のカップルが誕生した。
- 「子育て支援センターの年間利用者数」については、射水市子ども子育て総合支援センターに機能を集約し、土曜日にも開所することで、保護者が利用しやすい環境づくりに努めているが、新型コロナウイルス感染症等の影響により利用者数が減少した。
- 「子育て情報ちやいる.comへのアクセス数」については、スマートフォンに最適化したサイト構成に改修している。また、市ホームページのリニューアルの効果もあり、アクセス数が増加した。
- 「3歳6ヶ月児健康診査の受診率」については、子育て支援アプリにおける案内配信や、検診未受診者への訪問や電話による受診勧奨を行ったことで受診率が向上した。
- 外国人や家庭に不安を抱える子が増加傾向にあることから、中学校の不登校生徒数は増加しており、今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外国人指導員等の支援を継続するとともに、専門機関等との連携を図り、相談体制の強化を図る。

基本目標 2 地域のしごとづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
雇用創出数(年間求人数)	8,025人	9,620人	8,400人

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

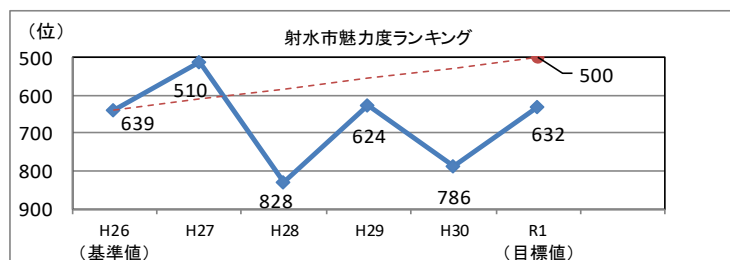
- 全国的に有効求人倍率が上昇する中、富山県及び高岡管内の有効求人倍率が全国平均を上回った。
※高岡管内有効求人倍率：H28年度1.72、H29年度1.89、H30年度2.06、R1年度1.85
(富山県1.81全国平均1.55)

<今後の取組>

- 合同企業説明会参加支援について、補助対象を三大都市圏から県外に拡充したところであり、制度の周知と活用の促進に努める。
- ハローワーク及び商工団体と連携し、引き続き「射水市合同企業説明会」を開催し、新卒者や中途採用者のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による離職者の再就職支援を図る。開催に当たっては、民間開催の説明会と日程重複を避けるほか、オンラインでの合同企業説明会の開催を検討し、求職者の参加機会の確保に努めていく。
- 市内企業のテレワーク環境等の整備促進を図り、遠隔勤務など、新しい雇用形態への取組を支援する。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
射水市魅力度ランキング	639位	632位	500位以内

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

- 東京、大宮、長野県等の県内外で、観光及び特産品のPRのため、出向宣伝や各種物産展等への参加を積極的に行い、射水の魅力発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 首都圏及び北陸新幹線沿線地域等での出向宣伝や物産展等に参加し、射水の魅力発信に努める。
- 射水市観光振興計画に基づき、各種施策に取り組み、本市の魅力度を高める。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	2	4	1

※女性、男性で区別されているものは分けて計上

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
10 市内企業団地分譲率	96.0 %	97.6 %	100 %	維持
11 創業者数	8 件	13 件	20 件	維持
12 産学官金連携共同研究の年間件数	4 件	14 件	15 件	概ね順調
13 射水産特産品通販販売品目	35 品	35 品	45 品	維持
14 6次産業化推進案件数	0 件	1 件	2 件	概ね順調
15 養殖サクラマスの年間売上高	0 千円	12,002 千円	60,000 千円	維持
16 育児休暇取得率	(女性)73.9 %	89.8 %	(女性)77.6 %	達成
	(男性)1.0 %	7.1 %	(男性)5.0 %	達成
17 中小企業退職共済加入者数	3,494 人	3,826 人	3,672 人	達成
18 人材確保充足数	1,799 件	1,491 件	1,900 件	遅れ

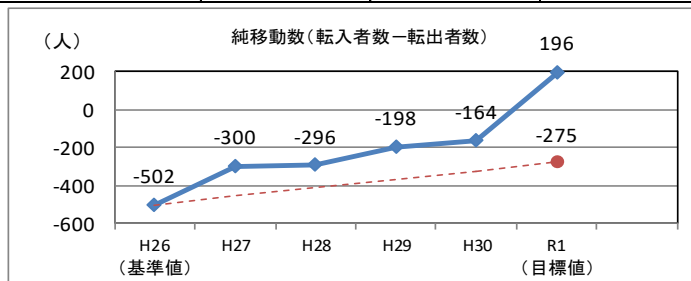
- 「市内企業団地分譲率」について、未分譲用地への企業進出を促すため、本市の特性や企業ニーズを踏まえ、企業立地助成金制度を拡充している。
- 「創業者数」については、「創業支援事業補助金」を交付した件数とした。創業に対する問い合わせも多く、市、商工会議所、商工会の3者による創業支援連絡会を定期開催し、創業支援者間での情報連携を行っている。
- 「6次産業化推進案件数」については、小松菜ペーストの加工機械導入により飲食店等の販路拡大を図った事業所が県の補助事業として採択された。
- 「養殖サクラマスの年間売上高」については、伸び悩んでいる。生育状態によっては、市場に出荷できないため、今後、養殖技術を高め、歩止まり率6割を目指す。
- 「育児休暇取得率」については、増減の波があるものの、着実に男性の取得率は増加しており、今後も企業の意識改革や制度の周知に努める。
- 「人材確保充足数」については、ハローワークにおける市内企業の求人と求職者とのマッチング件数である。近年の好景気により有効求人倍率が高くなり、企業が求める人材の確保が困難な状況となった。このため、より効果的なマッチング機会を設けるため、射水市雇用対策推進協議会やとやま呉西圏域事業においてもオンライン合同企業説明会の実施も視野に入れながら、実効的な合同企業説明会を開催していく。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
純移動数（転入者数－転出者数）	△502人	196人	△275人

※直近5年間の累計

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

- 1 首都圏及び関西圏でのプロモーション活動や情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 1 転入者数の増については、技能実習生など外国人の転入増による影響が大きいことから、多言語対応を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める必要がある。
- 2 呉西6市による移住サポートステーションの設置や空き家情報バンクへの物件登録の強化により、若者の定住やUJターン促進に一層努める。
- 3 外国人旅行者を含む個人旅行者の誘客強化、内川の魅力を高める取組に加え、昼セリ見学、かまぼこづくり、陶芸、鏝絵、絵本等の製作体験環境の整備により体験型観光を推進し、より多くの人々が本市を訪れるよう様々な施策を展開する。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	6	2	1	2

※把握できなかった3件を除いて計上

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
19 移住制度を活用して県外から移住した人数	5人	31人	10人	達成
20 移住交流施設の利用率	43.1%	52.2%	45.0%	達成
21 指定宅地における建築率	79.7%	84.0%	83.4%	達成
22 若者世帯定住促進家賃補助制度を利用して、市外から転入した人数	0人	55人	21人	達成
23 住宅相談窓口利用者数	50件	62件	60件	達成
24 空き家の有効活用支援件数	0件	0件	1件	維持
25 ロケ地来訪者(川の駅)数	35,439人	46,929人	50,000人	概ね順調
26 海王丸パーク周辺入込数	1,559,200人	1,743,900人	1,700,000人	達成

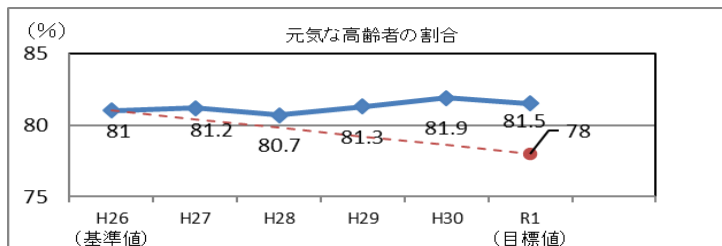
KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
27	コミュニティバス等乗車人数	394,302 人	391,048 人	400,000 人	遅れ
28	万葉線乗車人数	1,253,912 人	1,135,583 人	1,258,000 人	遅れ
29	市内企業に就職したい学生の割合	— %	— %	68.0 %	計測不可
30	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	— %	— %	97.5 %	計測不可
31	合同企業説明会の学生参加者数	66 人	— 人	84 人	計測不可
32	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	20 %	22.9 %	25 %	概ね順調

- 「移住制度を活用して県外から移住した人数」については、空き家情報バンク登録やさらさら射水移住支援事業補助金の拡大等により、増加につながっている。また、内川周辺を移住者受入モデル地域として指定した「移住者受入促進計画」の策定、移住コーディネーターの雇用等により、移住者の増加及びサポート体制の強化を図る。
- 「住宅相談窓口利用者数」については、住宅等の新增築・耐震改修リフォーム工事に伴う相談のほか、空き家に関する相談件数が増加しており、空き家物件購入希望者からのリフォームや耐震改修等の相談にも対応強化するとともに、木造住宅の耐震改修に対応できるよう、会員の技術力の向上を図る。
- 「空き家の有効活用支援件数」については、店舗等に活用する支援である。今後の空き家等の活用策や老朽空き家等の対策を総合的かつ計画的に推進するため「射水市空き家等対策計画」を策定したほか、老朽危険空き家等の解体を促進し、解体後の跡地活用を支援するため、経費の一部を助成している。
- 「コミュニティバス等乗車数」「万葉線乗車数」については、通勤・通学の利用者が主だが、暖冬や新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人数が伸びなかった。今後は、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通網の構築などを目的に、コミュニティバス再編プランを策定する。
- 地元就職支援策については、これまで順調に進捗していたが、毎年実施する「いみず企業見学バスツアー」、「合同企業説明会」の開催が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、数値の把握ができなかった。今後も引き続き開催し、市内企業と学生等の求職者のマッチングを図るとともに、SNSの活用も検討しながら、多くの参加学生の確保に努める。

基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
元気な高齢者の割合 (要介護認定等を受けていない者の割合)	81%	81.5%	78%

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

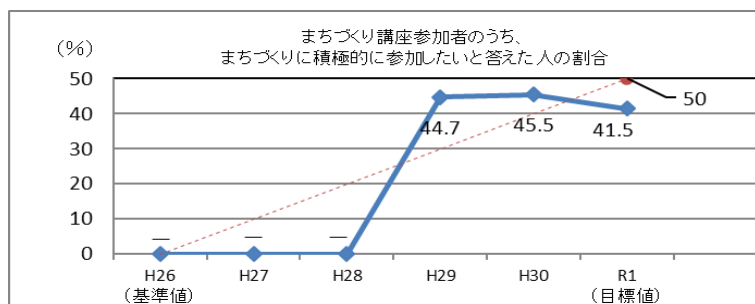
- 1 介護予防効果のある「きららか射水100歳体操」を導入し、出前講座の実施や継続グループの支援や骨粗しょう症予防等のDVDの作成を行い、着実に実施人数の増加を図った。
- 2 軽度認知障害高齢者を早期発見し、早期治療につなげるとともに予防についての正しい知識の普及啓発を図る「脳いきいき健康講座」を実施した。

<今後の取組>

- 1 「きららか射水100歳体操」の目標人数（継続者数：2,700人）に向け、一層の普及に努めるとともに、継続してフレイル予防を効果的にできるように理学療法士による運動指導を各グループに実施する。
- 2 軽度認知障害を早期発見するために認知機能検診を実施するとともに、受診者に「地域の集いの場（100歳体操等）」への参加勧奨をし、認知症の予防を推進する。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	なし	41.5%	50%

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

- 1 まちづくりの活動を見て、体験する「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」の実施に当たり、民間活力を活用し、より効果的にまちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。
- 2 「射水まちづくりセミナー」を実施し、まちづくり実践者のスキルアップ及びネットワーク形成につなげた。また、セミナーの実施に当たっては、民間活力（射水まちづくり大学同窓会）を活用し、事業効果を高めるよう工夫した。

<今後の取組>

- 1 引き続き民間活力を活用し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	6	2	1	1

KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
33	講座参加者のうち、積極的に「地域デビュー」したいと答えた人の割合	0.0 %	83.3 %	50 %	達成
34	総合患者満足度数	4.04 点	4.11 点	4.07 点	達成
35	防災士取得者数	64 人	119 人	114 人	達成
36	消防団員数	728 人	706 人	757 人	遅れ
37	エコアクション21認証取得	13 社	16 社	22 社	維持
38	まちづくり講座受講者数	0 人	216 人	200 人	達成
39	見直しする公共施設数	14 件	38 件	28 件	達成
40	ICカードの多目的利用業務数	0 業務	4 業務	5 業務	概ね順調
41	コンビニ交付利用可能箇所数	0 箇所	34 箇所	40 箇所	概ね順調
42	連携して取り組む事業数	0 件	33 件	29 件	達成

- 「総合患者満足度数」については、射水市民病院の診療棟耐震化整備事業が完了し、施設整備や環境面の改善により向上した。また、全職員を対象に接遇研修を実施し、患者の満足度向上に努めた。
- 「消防団員数」については、機能別団員として、日中の災害支援員（消防団員経験者）の任命や学生消防団員（富山県立大学）を募集するなど、引き続き担い手不足の解消に向け、団員募集の周知を図る。
- 「まちづくり講座受講者数」については、民間活力（射水まちづくり大学同窓会）を活用し、射水まちづくりセミナー等を開催し、多くの参加があった。
- 「見直しする公共施設数」については、地域振興会単位で公共施設再編方針（案）の説明及び意見交換会を開催し、市民の理解を深めた。今年度は、施設ごとの具体的取組を示す「個別施設計画」の策定に取り組む。
- 「ICカードの多目的利用業務数」では、現在、個人番号カードを活用できるサービスは、全国のコンビニエンスストアで住民票の写し等の証明書を取得できるサービス、子育てに関する申請や届出など15の手続きをオンラインで行えるサービス、射水市内4つの図書館において図書館利用カードとして利用できるサービス、自治体ポイントによって射水市の特産品が購入できるサービスの4業務になっている。今後、介護に関する手続きをオンラインで行える「介護ワンストップサービス」について、引き続き担当課と調整を図る。

5 令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証

令和元年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

①高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業

事業費 33,860千円
 交付金額 16,930千円

<事業概要>

①本市観光客の玄関口である北陸新幹線新高岡駅をから新湊地区、そしてあいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バスを運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図る。

②新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電動カートや電気自動車の導入を図り、観光客の利便性向上とともに、地域の高齢者の買い物の足とすることで、商店街の復興と活性化を図る。なお、車両については、国が新たに総合戦略で示している5GやAI、IoTの活用を念頭に高等教育機関等と連携し、本市独自の仕様の実現を目指す。あわせて、地域資源の掘り起こしによる新たな商品開発や創業支援による新規出店を促すため、キッチンカーの活用を図る。キッチンカーについては、新商品の販路拡大にも寄与する。

③本市の玄関口である小杉駅から観光客を新湊地区に誘導する方策を検討する。

KPI		H30	R1	R5
商店街等新規出店支援事業補助金交付件数(件)	目標値		2件	2件
	実績値	0件	2件	
内川(川の駅)来訪者数(人)	目標値		44,770人	46,370人
	実績値	44,370人	46,929人	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(一日当たり)(人)	目標値		3,193人	3,213人
	実績値	3,188人	3,228人	
元気な高齢者の割合(要介護認定等を受けていない者の割合)(%)	目標値		81.0%	81.0%
	実績値	81.0%	81.5%	

<主な取組及び成果>

- 公共交通の利便性を確保することで交流人口を拡大し、地域の活性化を図ることを目的とした周遊バスの運行に向け、ルートの設定やダイヤの設定等の事業計画を策定した。
- 電動カート・電気自動車の導入に向け、車両の仕様等の研究を行ったほか、キッチンカーの導入に向け、協議した。
- 富山県立大学との連携により、観光アプリの開発を行った。

<今後の取組>

クロスベイ新湊のオープン後、新高岡駅、小杉駅を結ぶ周遊バスの実証運行を実施し、市内外から新湊地区への観光面での交通の確保と利便性の向上を図る。また、クロスベイ新湊、海王丸パークを結ぶ内川周辺において、電気三輪自動車の実証運行を実施し、観光客の利便性向上と合わせて、地域の高齢者の移動手段の確保に向けた効果を検証する。加えて、創業支援として、キッチンカーを活用した新たな出店を促す。

②「海のあるスイス」をめざすALL富山観光プロジェクト

事業費 2,327千円
 交付金額 1,163千円

<事業概要>

平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、「選ばれ続ける観光地 富山」を目指し、官民一体となって「マーケティング＝売れる仕組みづくり」と「ブランディング＝上質なライフスタイルのブランドイメージの確立」に重点的に取り組む。

- 戦略的な観光地域づくり・広域観光の拠点化
- 富山らしい魅力創出・戦略的なプロモーション
- 美術館・博物館・芸術文化施設等の魅力向上・発信による誘客促進
- 首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランド力アップ
- 季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

KPI		H27	R1	R2
富山県全体の観光消費額(億円)	目標値		2,067億円	2,110億円
	実績値	1,635億円	— 億円	
首都圏のアンテナショップへの来館者数(人)	目標値		1,100,000人	1,150,000人
	実績値	508,000人	673,097人	
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		550,000人	620,000人
	実績値	397,000人	616,498人	
延べ宿泊者数(人)	目標値		4,569,490人	4,921,490人
	実績値	3,895,490人	3,807,890人	

<主な取組及び成果>

知名度・魅力度向上、観光客の誘致促進を図るため、(公社)とやま観光推進機構が中心となり、県内15市町村が県とタイアップして戦略的な観光地域づくりに向け、各種マーケティングデータに基づく事業を推進した結果、県及び県内市町村と連携し、オール富山で戦略的な魅力発信を行うことができた。

<今後の取組>

とやま観光推進機構(日本版DMO)の取組が県全体の地域経済活性化につながるよう、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に射水市の観光振興施策に取り組む。

③「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

事業費 715千円
 交付金額 357千円

<事業概要>

●地域公共交通ネットワークの確保・充実

県民・観光客等の地域公共交通の利用が進むよう、県・市町村・交通事業者が連携を図り、バスの乗継案内・運行情報(遅延情報)や沿線の観光情報の情報提供(多言語化対応)、運行間隔の短縮のための増便、条件不利地域(過疎地域などの中山間地域)での利用活性に向けた調査・実証運行等々を行うなど、ニーズに応じた交通サービスの提供や接続利便性の向上等により地域公共交通ネットワークの再構築を進める。

●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実

県内や県外との周遊機能を高めるため、新幹線駅・拠点駅等と県内観光地・隣県観光地とスムーズに周遊できる広域的な公共交通サービスの充実や、多彩な鉄道・軌道を活かしたツーリズムの活性化に取り組む。

●富山空港の機能の充実

・羽田線の維持・充実、関西・九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓など、国内航空ネットワークの充実、及び国際路線の維持・拡充に取り組む。

・空港の利便性の向上や活性化を促進、及び空港内の施設の適切な維持管理、航空機の運航に対する安定性の確保に努める。

KPI		H30	R1	R3
鉄軌道・バスの利用率(県民1人当たりの年間利用回数)(回)	目標値		46.5回	47.6回
	実績値	46回	— 回	
観光客の県内交通機関の満足度(%)	目標値		53.8%	58%
	実績値	50.8%	— %	
農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)(人)	目標値		70,073人	73,822人
	実績値	68,199人	— 人	
富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数(人)	目標値		576,730人	586,060人
	実績値	573,120人	— 人	

<主な取組及び成果>

県・交通事業者と連携してバスロケーションシステムの開発に当たるとともに、データの更新を行った。また、連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力のうえ、ロケーションシステムが活用され利用者の増加に繋げることができた。

<今後の取組>

観光客等が必要なバスの乗継案内・遅延情報などの情報提供や、運行間隔の短縮、主要駅・空港からの乗継の改善や周遊などの乗りやすい便利な交通環境の整備による交通ネットワークの構築や、空港の機能強化による旅客・貨物の増加により、利用者の増加・来県者の県内・隣県との周遊⇒交通事業者の収支の改善・地域での消費の活性化⇒(収支改善による)交通事業者自らの取組による利便性の向上⇒利用者の増加・地域での観光交流の増加と、地域活性化に向けた正の循環に繋げる。

事業費 97,054千円(平成28年度～平成30年度の総額)
 交付金額 47,013千円(平成28年度～平成30年度の総額)

<事業概要>

純射水産養殖サクラマスの価値観の向上を図るため、試食会等の実施による販路拡大、JR西日本との商品開発、企業マッチングによる販路拡大のための商談会への参加、展示会出展を行う。また、市場価格の決定のための調査、ユーザーに適応した生産体制の確立のための調査を行う。

養殖施設診断の結果、陸上養殖に必要な水量の確保がなされていないことが判明していることから、新たに海面蓄養(養殖)試験に着手し、その生産量の増強と、大型市場化を狙う。

軌道に乗った事業運営のため、マーケティングも含めた経営診断及び、サクラマスのプレミアム化を含めた商戦、売り込みの展開を行い、稼ぐ力と継続するビジネスを再度検証し、自立に向けた展開を進める。

地域に立脚した生産システムを確立し、ローカルブランディングを創出し、関連する専用米づくりや魚醤製造、熊笹生産や幻のますの鮨製造等を含めた労働生産性の向上を図り、若者の一次産業への積極参入、良質な雇用により地方の自立に結ぶことを目標とする。

KPI		H27	R1	R2
純富山産サクラマス(陸上養殖)の年間売上高(千円)	目標値		60,000千円	60,000千円
	実績値	0千円	12,002千円	
鮭専用米作付面積(a)	目標値		240a	1,200a
	実績値	0a	50a	
養殖サクラマス取扱店(店舗)	目標値		10店舗	10店舗
	実績値	0店舗	49店舗	
海面蓄養(養殖)サクラマス売上高(千円)	目標値		6,960千円	45,360千円
	実績値	0千円	2,589千円	

<主な取組及び成果>

- 1 市内県内を中心にしたPR活動を強化するため、市内イベントの活用や市内飲食店での新メニューの開発促進等販路・市場拡大及びイメージアップ等を図った
- 2 いみずサクラマス稚魚育成のため、採卵ふ化稚魚育成に対し、補助を行った。
- 3 鱒寿司専用米の生産、市場開拓に取り組んだ。
- 4 海面蓄養試験として、生簀修繕改良及び生簀設置及び撤去費の補助、生簀周辺の水質・底質等の生育環境調査を行った。

<今後の取組>

- 1 引き続き、県内外において売り込み展開を行い、更なるブランド認知度の向上を図る。
- 2 サクラマスセンターでの採卵・ふ化・稚魚の中間育成に補助を行い、早期育成サクラマスの系統を保持するとともに、海上養殖を実施し、生産量の増強と大型市場化を目指す。

6 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

(1) 数値目標

基本目標	第1期				第2期	
	数値目標	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗	数値目標	目標値 (令和6年度)
1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	1 「子育てが楽しい」と回答する割合	98.4 %	100 %	維持	1 「子育てが楽しい」と回答する割合	100 %
	2 「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	(小学校)93.3 % (中学校)86.0 %	(小学校)100 % (中学校)100 %	維持	2 「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	(小学校)100 % (中学校)100 %
2 地域のしごとづくり	3 雇用創出数 (年間求人数)	9,620 人	8,400 人	達成	3 雇用創出数 (年間求人数)	11,000 人
	4 射水市魅力度ランキング	632 位	500 位	維持	民間で実施しており、ランキング100位までは公表されている。知名度・住みやすさ等指標が多く、施策とランキングとの関連が不明であるため削除	
	-	-	-	-	4 6次産業化推進事業件数	3 件
3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	5 純移動数(転入者数-転出者数) ※直近の5年間の累計	196 人	▲ 275 人	達成	5 純移動数(転入者数-転出者数) ※直近の5年間の累計	0(均衡) 人
	-	-	-	-	6 射水市観光ホームページ閲覧数	600,000 件
4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	6 元気な高齢者の割合 (要介護認定等を受けていない者の割合)	82 %	78 %	達成	地域での体制づくりの推進を図るため、個人の元気率から、地域全体で生きがいや創出や福祉を推進する「地域支え合いネットワーク事業」実施地域数に指標を変更	
	-	-	-	-	7 地域の支え合い体制の推進地域数	27 地域
	7 まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	41.5 %	50 %	維持	8 まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	50 %

(2) 重要業績評価指標 (KPI)

基本目標	第1期				第2期			
	KPI	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗	KPI	目標値 (令和6年度)		
1 結婚・出産・子育てづくり・子どもの学びの	1	男女出会いイベント数	4件	2件	達成	1	男女出会いイベント年間開催数	8件
	2	休日保育実施保育園数	9園	10園	維持	2	休日保育実施保育園数	10園
	3	子育て支援センターの年間利用者数	44,534人	53,000人	遅れ	3	子育て支援センターの年間利用者数	55,000人
	4	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	878,997件/年	58,000件/年	達成	4	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	538,000件/年
	—	—	—	—	—	5	赤ちゃんの駅設置箇所数	45箇所
	—	(16 育児休暇取得率 男性)	—	—	—	6	男性の育児休暇取得率	20%
	5	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2%	100%	維持	7	3歳6か月児健康診査の受診率	100%
	6	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)89.0% (中学校)70.6%	(小学校)100% (中学校)100%	維持 維持	8	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)100.0% (中学校)100.0%
	7	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)85.5% (中学校)64.5%	(小学校)83.0% (中学校)60.0%	達成 達成	9	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	増加
8	不登校児童・生徒数 小中学校	(小学校)32.0人 (中学校)82.0人	減少 減少	達成 遅れ	10	不登校児童・生徒数 小中学校	減少	
9	家庭教育に関する講座・学習会の参加者数	971人	1,050人	維持	11	家庭教育に関する講座・学習会の参加者数	1,100人	
2 地域のしごとづくり	10	市内企業団地分譲率	97.6%	100%	維持	12	市内企業団地分譲率	100%
	11	創業者数	13件	20件	維持	13	創業支援事業補助金延べ利用件数	20件
	12	産学官金連携共同研究の年間件数	14件	15件	概ね順調	14	産学官金連携共同研究の年間件数	15件
	13	射水産特産品通販販売品目	35品	45品	維持	—	ふるさと物産協議会の取扱い品目数を計上していたが、新しくブランド商品開発する件数に変更	—
	—	—	—	—	—	15	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	7件
	14	6次産業化推進案件数	1件	2件	概ね順調	—	平成29年4月に「富山6次産業化サポートセンター」が開設され、県が主体となって、専門指導員による相談業務、人材育成研修、補助金の支援までの総合的なサポート体制が構築され、「2地域のしごとづくり 数値目標4」に変更	—
	15	養殖サクラマスの年間売上高	12,002千円	60,000千円	維持	—	「売上高」から「出荷尾数」に変更 (市の目的はブランド推進であり、そのためには射水産サクラマスがより多く市場に行き渡ることが重要であることから「売上高」よりも「出荷尾数」の方が指標として適しているため)	—
	—	—	—	—	—	16	養殖サクラマスの年間出荷数	40,000尾
	—	—	—	—	—	17	IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	30%
	16	育児休暇取得率	89.8% 7.1%	(女性)77.6% (男性)5.0%	達成 達成	—	「6 男性の育児休暇取得率」に移行 (男性の家事・育児参画に対する気運の醸成を図るため)	—
	—	—	—	—	—	18	長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	65%
	17	中小企業退職共済加入者数	3,826人	3,672人	達成	19	中小企業退職共済加入者数	4,200人
18	人材確保充足数	1,491件	1,900件	遅れ	20	人材確保充足数	1,650件	

基本目標	第1期				第2期		
	KPI	実績 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)	進捗	KPI	目標値 (令和6年度)	
3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	19	移住制度を活用して県外から移住した人数	31人	10人	達成	「21 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」に統合	
	—	—	—	—	21	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数 100人	
	20	移住交流施設の利用率	52.2%	45.0%	達成	「21 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」に統合	
	21	指定宅地における建築率	84.0%	83.4%	達成	— 算出方法の変更	
	—	—	—	—	22	指定宅地における住宅建築率 50.0%	
	22	若者世帯定住促進家賃補助制度を利用して、市外から転入した人数	55人	21人	達成	「21 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」に統合	
	23	住宅相談窓口利用者数	62件	60件	達成	23 住宅相談窓口年間相談数 45件	
	24	空き家の有効活用支援件数	0件	1件	維持	24 空き家の有効活用支援延べ件数 3件	
	—	—	—	—	25	空き家情報バンクへの登録件数 40件	
	25	ロケ地来訪者(川の駅)数	46,929人	50,000人	概ね順調	26 ロケ地来訪者(川の駅)数 50,000人	
	26	海王丸パーク周辺入込数	1,743,900人	1,700,000人	達成	27 海王丸パーク周辺入込数 1,850,000人	
	—	—	—	—	28	継続的に射水市にふるさと納税をした人数 320人/年	
	—	—	—	—	29	フットボールセンターの年間利用者数 60,000人/年	
	27	コミュニティバス等乗車人数	391,048人	400,000人	遅れ	30 コミュニティバス等乗車人数 450,000人/年	
	28	万葉線乗車人数	1,135,583人	1,258,000人	遅れ	31 万葉線乗車人数 1,200,000人/年	
	—	—	—	—	32	小杉駅、越中大門駅の乗車人数 1,600千人/年	
	29	市内企業に就職したい学生の割合	—%	68.0%	(概ね順調)	33 市内企業に就職したい学生の割合 70%	
	30	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	—%	97.5%	(順調)	34 学生訪問支援事業の参加学生の満足度 98.5%	
	31	合同企業説明会の学生参加者数	—人	84人	(遅れ)	35 合同企業説明会の学生参加者数 90人/年	
	32	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	22.9%	25%	概ね順調	36 市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合 70%	
	4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	33	講座参加者のうち、積極的に「地域デビュー」したいと答えた人の割合	83.3%	50%	達成	— 個人を対象としたものから、地域全体で福祉に関わることを推進するものへと内容を変更したため削除
		34	総合患者満足度数	4.11点	4.07点	達成	37 総合患者満足度数 4.15点
		35	防災士取得者数	119人	114人	達成	38 防災士取得者延べ人数 162人
		36	消防団員数	706人	757人	遅れ	39 消防団員数 757人
		37	エコアクション21認証取得	16社	22社	維持	— 環境マネジメントシステム認証には環境省によるエコアクション21の他、国際標準機構(ISO)や一般社団法人による規格など多様な規格があるため、エコアクション21のみを指標とすることは不適切であるため削除
		—	—	—	—	40	一人/日当たりのごみの排出量 1,006g
		—	—	—	—	41	リサイクル率 34.5%
		38	まちづくり講座受講者数	216人	200人	達成	42 まちづくり講座年間受講者数 200人/年
		—	—	—	—	43	事業運営を担う中核的法人数 2法人
		—	—	—	—	44	元気な高齢者の割合 78%
		—	—	—	—	45	多文化子どもサポートセンターの年間参加者数 200人
		39	見直しする公共施設数	38件	28件	達成	46 見直しする公共施設の延べ件数 40件
40		ICカードの多目的利用業務数	4業務	5業務	概ね順調	47 ICカードの多目的利用業務数 10業務	
41		コンビニ交付利用可能箇所数	34箇所	40箇所	概ね順調	— 今後は店舗の統廃合や廃業等が懸念され、店舗数拡大が見込めないため、削除	
—		—	—	—	48	IoT活用延べ業務数 15業務	
—	—	—	—	49	RPA活用延べ業務数 20業務		
42	連携して取り組む事業数	33件	29件	達成	50 とやま呉西圏域連携中核都市圏で取り組む事業数中、本市が参加する年間事業数 33件		